

Lyric

リリック カラーズ

# Colors

vol.18

2026  
3.25発行  
TAKE  
FREE



特集

鼓童 長岡特別公演

スペシャルインタビュー

小曾根真トリオ TRiNFIniTY

池上英樹 & 塚越慎子 マリンバ・デュオコンサート

注目公演

ギドン・クレームル・トリオ

東京フィルハーモニー交響楽団

“平日お昼の室内楽コンサート”

vol.1 新緑のストリング・カルテット

公益財団法人 長岡市芸術文化振興財団 広報誌



みんなのホール  
長岡リリックホール

# 特集 鼓童1日まるごと 和太鼓体験

鼓童さんが  
教えてくれた

## 太鼓のあれこれ

### 最もポピュラーな 長胴太鼓

1本の木をくり抜いて作る「くり抜き胴」の太鼓です。皆さんが「太鼓」と言って思い浮かぶのはこの太鼓だと思います。「宮太鼓」とも呼ばれ、神社やお寺での催事でも使われます。ほとんどが叩面に「牛の皮」を使っていて、とても丈夫で長持ちする太鼓です。重厚感のある音が魅力です。鼓童では「三宅」や「屋台囃子」などの演目で使われます。



### 担いで軽快に演奏する 桶胴太鼓

日常生活で木の桶を使うことは少なくなりましたが、桶は杉などの軽い木の板を丸く繋ぎ合わせてできています。桶胴太鼓も、胴が桶と同じ仕組みで作られているので比較的軽量です。「かつぎ桶」とも言われるように、肩から下げて動きながら演奏もできます。両面の皮をとめているロープの締め具合で音の高さを調整できるので、曲に合わせて太鼓を選びます。鼓童では「結」や「逢か」などの演目で使われます。



### 鼓童の目玉 大太鼓

直径3尺以上のくり抜きの長胴太鼓を鼓童では「大太鼓」と呼んでいます。鼓童が大きな舞台上で使うものは、重さ約300kg、男性が十人がかりで台の上に乗せます。最近では直径3尺以上で胴の長さが短い「平胴大太鼓」「平桶大太鼓」も舞台上でよく使われています。



### 曲をリードする 締太鼓

くり抜きの胴に、両面の皮はロープでとめてあります。鼓童では「カンカン」というとても高い音が出るようにチューニングしています。音が通るので、曲のリズムをキープする時などによく使われます。日本の伝統芸能の能や歌舞伎でも使われます。鼓童では「屋台囃子」のリードや「モノクローム」という曲で使われます。

リリックホール開館30周年を迎える特別な春を、創立45周年を迎えた太鼓芸能集団「鼓童」と、和太鼓をテーマとしたイベントで盛り上げます。  
長年鼓童スタッフをされている後藤美奈子さんに、和太鼓の魅力、そして今回のスペシャルイベントについて教えていただきました！



写真提供:鼓童

## 4/25±はリリックで1日あそんじゃおう♪

### ファミリー公演

“小さなお子さまからおとなまで”

開場10:30 開演11:00

全席指定 一般1,500円

※4歳から入場可

鼓童の演奏に合わせて手拍子で参加でき、太鼓に親しめる内容になっています。鼓童ファンの方も、初めて観る方もみんな一緒に盛り上がりましょう♪



### 公演紹介

会場/シアター

### 特別公演

“これぞ鼓童! 匠巻のパフォーマンス!”

開場15:00 開演15:30

完売御礼



### イベント紹介

#### パフォーマンスステージ

12:15~ コンサートホール 無料

長岡市内で太鼓の演奏活動している団体が出演します。それぞれの個性あふれるパフォーマンスをお楽しみください。

#### 出演団体

- 悠久太鼓青悠会・光悠会
- 鶴亀会(長岡技術科学大学)
- 転太鼓舞(長岡造形大学)
- 三島かたくり太鼓
- TDKラムダ星雲会
- 華童会

※鼓童メンバーとの合同演奏もあります



#### 楽器体験・展示コーナー

10:00~ ホワイエ 無料

いろいろな和楽器を展示します。実際にさわられるコーナーもあります♪ 鼓童や佐渡を紹介する展示も計画中です。

#### おやこで和太鼓ワークショップ

要事前申込(有料) ※定員になり次第受付を終了します。

鼓童メンバーで佐渡の太鼓体験交流館の講師も務める、サミーちゃんこと宮崎正美が登場。太鼓の楽しさやおもしろさを実感できるワークショップです。おやこで、そこにいるみんなで、心をつなげて太鼓をたたきましょう。



キッチンカーもくるよ!  
たくさんたべて  
一日リリックで  
あそんじゃおう!



### 和太鼓は人と人を繋ぐ

太鼓は、人を繋ぐことができる楽器です。古来から情報伝達に使われ、戦や試合では味方を鼓舞し、スポーツでは応援する人たちの心をひとつにします。想像ではありますが、たぶん、木が太鼓になる前に数百年生きてきた記憶が音になることで私たちの心に訴えるのではないかと思っています。たくさんの季節、たくさんの人や生き物の声、喜びも悲しみもたくさん抱えて、その場にいる誰よりも太鼓は長生きをしています。そんな風に考えると、よい太鼓のたたき手というのには、太鼓の記憶を引き出せる人のことを言うのではないかと思ったりします。太鼓を聞くことで、知らないうちに涙がこぼれたり、知らない風景を感じたりというのには、きっとそういうことなのだろうと思いつながら、太鼓と一緒に仕事をしています。

### 長岡と太鼓

長岡の皆さんは太鼓に対して目も耳も肥えている、と思っています。日本中、世界中で公演をして回っている私たちが感じているのですから間違いありません。鼓童の公演やイベントに参加してくださる皆さんの鑑賞する姿勢、熱感、拍手のタイミング、どれをとっても演奏者魂を盛り上げ、客席の一体感をつくる何かをもっている。それはなんだろう、と思いつつ、いろいろ、長岡の太鼓グループの皆さんのお付き合いが始まりました。そこで、みなさんの生活の近いところに和太鼓があるからなのだろう、と気がつきました。町内のお祭りはもちろん、長岡まつりでも、桜まつりでも、催事には必ず太鼓がある場所。そんな長岡で演奏できることは、このうえない喜びです。

### 鼓童プロフィール

新潟県佐渡島を拠点に、太鼓を中心とした伝統的な音楽芸能に無限の可能性を見だし、現代への再創造を試みる集団。1981年ベルリン芸術祭でデビュー。劇場公演の他、学校公演や多様なジャンルのアーティストとの共演、国際芸術祭、映画音楽等へ多数参加している。2012年から2016年まで歌舞伎俳優・坂東玉三郎氏を芸術監督に招聘。2023年、令和5年度文化庁長官表彰。2025年、大阪・関西万博と東京2025世界陸上開会式に出演。2026年に創立45周年を迎えた。

また、今回は鼓童公演以外にも、長岡の太鼓のチームの演奏などいろいろな催しが目白押しです。自分にとりまわりの心、心が動かされるものはそれぞれです。見て、聞いて、体験して、これからの生活が豊かになることを一緒に見つけましょう!

### 長岡特別公演に向けて

リリックホール開館30周年、誠におめでとうございます。長岡の地に芸術文化が根付いているのは、みなさんの気質ももちろんですが、市立劇場とリリックホールがそれぞれの施設の長所を生かして様々な企画を行っているからにはかならないと思っております。リリックホールの舞台は出演者とお客さまとの距離が近く、ご来場されたみなさんが「また見に来たい」「自分も舞台上に立つてみたい」と思えることが多いと感じております。

鼓童も、鼓童という名前でも活動を始めて45年目を迎えました。長岡市内では、劇場公演以外にも、市内各地の小学校・中学校・高校での演奏もさせていっています。この先は、更にきめ細やかな対応が必要な時代になつてくると思います。同じ県内、長岡と佐渡を繋ぎながら、次の40年、50年に向けて共に歩めれば嬉しく思います。

# Message



©Leslie Kee

## 小曾根真 Piano

30周年、本当におめでとうございます。

まず何よりも30年間、このホールを支えてこられた皆さんに心より喜びの言葉をお贈りしたいと思います。一人でも多くのお客さまに幸せを届けたい、楽しんで頂きたい、その純粋な思いと情熱がこのリリックホールを30年間熱いオーディエンスの皆さんが足を運び続けてくださる場所に仕上げたのだと僕は確信しています。そんな素敵な周年の年にまた呼んで頂けてとても嬉しいです。これからも長岡の皆さんに幸せのパワーを送り続けてください。この度は本当におめでとうございます！

ジャズ、クラシックの垣根を超えた独自のアプローチで世界的に活躍するピアニスト、作曲家。パーカー音楽大学卒業後、ゲイリー・パートンとの共演からジャズ界での国際的なキャリアをスタート。チック・コリアやブランフォード・マルサリス、マイケル・ブレッカーなどの名だたるアーティストと活動し、ジャズシーンにおける確固たる地位を築く。その後、クラシックの分野でも、ニューヨークフィル、ベルリン放音など、世界の名門オーケストラと共演。また、今年20年目となるビッグバンド「No Name Horses」での全国ツアーを敢行。2024年「TRiNFiNiTY」を結成。ジャンルを超えて世界の最前線で活躍を続けている。



©Leslie Kee

## 小川晋平 Bass

以前何度かリリックホールで演奏させていただきましたが、とてもいい響きのホールとして覚えています。ホールでジャズを演奏するのは難しいことが多いのですが、リリックホールではとても気持ちよく演奏ができ、たくさんのインスピレーションももらいました。またこのステージに戻って来られることがとても嬉しいです。TRiNFiNiTY & 松井秀太郎、このメンバーはみんなクリエイティブで常に新しいサウンドを追求するミュージシャンです。僕たちがリリックホールの響きから刺激を受けて、どんな音楽を作り出していくのか想像しただけでワクワクします。ここでしか聴けない生きた音楽をぜひ会場で体感しにいらしてください。

1994年愛知県出身。13歳でエレクトリックベースを始め、ジャズの魅力に惹かれ16歳でアコースティックベースを始める。2016年に渡米し、California Jazz Conservatoryに入学。ジェフ・デンソンをはじめ、様々なミュージシャンに師事する傍ら、サンフランシスコ周辺のライブハウスやスタジオを中心に演奏活動をする。2019年にNYに移り、2021年に帰国。日野皓正、ジーン・ジャクソン、黒田卓也、大林武司らと共演、小曾根真 No Name Horsesの参加など国内外で活動。2024年岡崎ジャズアンバサダーに就任。



©Leslie Kee

## きたいくにと Drums

昨年のヨーロッパツアーを経て、さらに強く深い結束を得たTRiNFiNiTY。5月にはツアーの最後にドイツで録音した2ndアルバム「For Someone」をリリースし、その音楽は世界へと広がっています。個人的には初めて訪れる長岡リリックホールでのステージが、松井秀太郎を迎えたスペシャルな編成で迎えられる事をとても嬉しく思っています。ジャズという音楽は、演奏する空間や、その日その場所で出会うオーディエンスの皆さまとの繋がりによって、毎回思いがけない表情を見せてくれます。ここでしか生まれない音、ふとした瞬間に起こる素敵なハプニングとの出会いを、心待ちにしています。

1995年奈良県生まれ。2017年国立音楽大学ジャズ専修を卒業。神保彰氏に師事し、同学在学中にプロデビュー。増尾好秋「MAGATAMA」、鈴木勲「OMA SOUND」のレギュラーメンバーを務めジャズ界に身を置きながらも、エンタメ・ジャズバンド「Calmera」のメンバーとして、全国のロックフェスにも出演。また、角松敏生や佐藤竹善などのバックバンド、「ずっと真夜中でいいのに。」のサポートなど様々なライブやレコーディングなどでジャンルを超えて活躍。



©Sakiko Nomura

## 松井秀太郎 Special Guest : Trumpet

小曾根真さんの音楽はジャンルを超え、そして本番前に打ち合わせしていた決まり事も超えて...ステージ上で生き物のように動き変化していきます。そんな小曾根さん率いる大好きなトリオTRiNFiNiTYの公演に参加できることがとても嬉しいです。今からワクワクしています！長岡リリックホールには去年、クラシックのプラスアンサンブルARK BRASSさんとコンサートホールに伺いました。赤い客席と素敵な響きがとても印象に残っています。今回はシアターでの公演ということでジャズの魅力、エネルギーが最大限お届けできるのではないかと思います！皆様にお会いできることを楽しみにしています！

1999年生まれ。国立音楽大学ジャズ専修を首席で卒業。2023年「STEPS OF THE BLUE」でメジャーデビュー。自身のカルテットやデュオ公演をはじめ、小曾根真 No Name Horsesへの参加やオーケストラとの共演などマルチな才能で幅広く活躍。25年にはライブ盤「FRAGMENTS-CONCERT HALL LIVE 2025」をリリースし、26年1月からは自身のカルテットにて全国ツアーを予定している。第36回ミュージック・ベンクラブ音楽賞「ポピュラー部門」[新人賞]、日本ジャズ音楽協会2025年度「新星賞」受賞。

## 小曾根真トリオ TRiNFiNiTY

2023年にジャズ界を代表するピアニスト・小曾根真がデビューから40年を迎えた節目に、絶大な信頼を寄せる若手精鋭ミュージシャン、小川、きたいくとともに結成。以降、国内のみならず海外公演も多数行い、国際レベルのピアニストとして注目される。26年2枚目のアルバム「For Someone」をリリース。



新譜「For Someone」



## Special interview

# 小曾根真トリオ

# TRiNFiNiTY

トリンフィニティ

2021年に自身の60歳を記念したソロ公演、25年には大物ミュージシャンを結集したビッグバンドNo Name Horsesのライブで長岡を熱く盛り上げた、世界的ジャズピアニスト小曾根真。今年是世界から注目されているピアニストトリオ「TRiNFiNiTY (トリンフィニティ)」にトランペッター松井秀太郎を加えリリックに再来します。毎回ジャズの新しい魅力を見せてくれる小曾根さんに、長岡公演への想いを語っていただきました。

©Takumi Saitoh

**長岡のお客さんは熱い！**  
ソロで演奏させていただいた時も、No Name Horsesというビッグバンドで演奏させていただいた時もお客様の音楽に集中されているその感性に驚きました。本当に音楽が大好きで、このコンサートに足を運んでくださったのがステージに出た瞬間から感じました。特にNo Name Horsesで伺った時は前日に大雪が降って足元も悪い中、あの大きなホールが埋まるほどのお客さまにお越し頂いて、一曲目からまるでラス曲のような拍手と歓声はまたとてもビビッドに僕の耳に残っています。

**僕にとつての刺激——**  
TRiNFiNiTY 晋平、くにと、そしてゲスト 秀太郎

小川晋平はコロナによってニューヨークからやむを得なく帰国して六本木のジャズクラブで演奏していたのを聞いたのが初めてでした。やはり本場アメリカで鍛えられた彼のシャープなグルーブと音楽性はすぐに僕の心を捉えました。北井晋人(きたいくにと)は僕が教授をしていた国立音大のジャズ専修に生徒として入ってきました。それは今回のゲストの松井秀太郎も同じですが二人ともたった4年の間に「ジャズをよく知らない人」から「本物のジャズ・ミュージシャン」と呼ぶに値するほど頭角を現したのです。上手いドラマーは沢山いますが、ドラムを使って素晴らしい音楽を作るミュージシャンとなると数は限られます。ドラムという楽器は非常に特殊で、リズムの担当と誤解されがちですが、実は太鼓やシンバルを使った

オーケストラレシーションを自分で創ってメロディーやハーモニーを支えることが、ドラマーの本来の役目なのです。その大切さを晋人は学生の頃に見つけたんだと思います。

同じく国立音大で僕の生徒だった松井秀太郎は入学した時点で同年代のトランペッターとしては群を抜く正確で丁寧な演奏が出来る技術を持っていたのですが、ジャズに関しては全く未経験でした。それがたった4年で一番ジャズの音楽で大切であるスイングとブルースを感じるようになった。これは僕の音楽人生の中で他に類を見ない成長、成熟ぶりでした。この3人と演奏することは僕にとつても素晴らしい刺激と発見があり、まさに僕がいつも言う「ステージの上では年齢も経験も関係ない」素晴らしい会話が必要生まれるのです。

**僕がいつもライブで求めること——**  
それは毎回のステージで必ず行ったことのないところに向かっていること。自分の安全圏やコンフォート・ゾーンに居ないで、常に怖いところに向かっている、そしてそれを思いっきり楽しむ。これがそれがジャズの本質であって、当日わざわざホールに来てくださったお客さまに届ける「二期一会」の音楽です。今回のコンサートもどうなるか？カルテットで演奏したり、流れの中で僕のソロ、あるいは秀太郎とのデュエット、いろんな組み合わせを段取りではなく、客席の皆さんからいただくエネルギーの波に乗ってコンサート最後まで突っ走りしたいと思います。



小曾根真トリオ | トリニフィニティ プラス

# TRiNFiNiTY+

出演 TRiNFiNiTY: 小曾根真 小川晋平 きたいくにと  
Special Guest: 松井秀太郎

**6/7日** 開場 15:30 長岡リリックホール  
開演 16:00 シアター

全席指定 6,500円 ※未就学児入場不可

リリックm.c.優先予約 4/7(火) 一般発売 4/8(水)

チケット購入はコチラ

# コレを知ればコンサートを100倍楽しめる♪

## 塚越さんが教えてくれた マリンバってこんな楽器

### 【起源】

マリンバはアフリカ起源の木琴に由来し、後に中南米、とくにグアテマラやメキシコで発展しました。木の鍵盤と共鳴管を組み合わせることで、深みのある温かい音色が生まれます。伝統的には民族音楽や宗教行事で演奏されてきましたが、現在ではクラシックや現代音楽でも使われる、表現力豊かな打楽器です。

### 【特徴】

マリンバは、木製の鍵盤と金属製の共鳴管から生まれる、温かく深みのある音色が魅力の打楽器です。低音域では包み込むようなあたたかい響きが広がり、高音域では透明感のある音を奏でます。演奏では、2本、4本、ときには6本のマレットを持ち、演奏します。持ち方や角度、硬さに加え、鍵盤に触れるスピードや力加減によって、音色や表情にさまざまな変化を生み出します。身体全体の自然な動きを生かし、旋律から和声まで幅広い表現が可能な楽器です。

### 塚越 慎子 使用楽器

- メーカー / YAMAHA
- 素材 / ローズウッド
- 幅 / 297cm
- 特徴 / 最低音C~最高音Gの5オクターブ半。共鳴管が真鍮でできています。



## 池上さんが教えてくれた プログラムの注目ポイント

マリンバという楽器は、速弾きやダイナミックな表現がマリンバの特徴だと思いますが、私たちはそれに加えて色彩感や音の響きに特に注意を払って追求してきたと思っています。その特徴を存分に発揮できる非常に繊細な音の響きを持つものから、ダイナミックな世界観のもの、歌の作品やオーケストラ作品などを2台のマリンバにアレンジしました。マリンバにもこういう表現ができるんだ、ということも知っていただきたいですし、有名な作品から、初めてお聴きになれるであろう作品まで取り揃えていますが、本当に難解でなく素敵な作品ばかりなんです。解説を交えながら進めていきますので、お楽しみいただければと思います！

### Program

- ◆“音の魔術師”  
M.ラヴェル／池上英樹編：道化師の朝の歌・ポレロ
- ◆“弦楽合奏の名曲”  
S.バーバー：アダージョ
- ◆“ミニマルミュージック・ポストモダン”  
J.アダムス：チャイナ・ゲート
- ◆“アルゼンチンの代表的作曲家”  
A.ヒナステラ：アルゼンチン舞曲集 Op.2 …ほか

※曲目・曲順が変更になる場合があります。

### 池上 英樹 使用楽器

- メーカー / アダムスマリンバ(オランダ製)  
アーティストクラシックモデル
- 素材 / ホンジュラス・ローズウッド
- 幅 / 289cm
- 特徴 / 特注5.5オクターブで25年前に作っていた楽器。残響は少なめですが、その分クリアなタッチがホールの中で届くように感じます。



塚越さんのマリンバソロ、私のフラメンコ的なパフォーマンスから小太鼓のソロ作品まで、生の音楽体験こそ味わえる、皆さんの心を揺さぶりたいと思います！

響き合う技巧の煌めきが導く  
—マリンバの世界—

## 池上英樹 & 塚越 慎子 マリンバ・デュオコンサート

6/27 土

開場13:30  
開演14:00

長岡リリックホール コンサートホール

リリックm.c.優先予約 3/26(木) 一般発売 3/27(金)  
全席指定 3,000円 [U-25] 1,000円 ※未就学児入場不可

チケット購入は  
コチラ



30年にわたり多くの音楽と人の想いを包み込み、地域の文化を支えてこられたこの素晴らしいマリンバホールで再び演奏できることを、大きな喜びとともに、心から光栄に思っております。魅力あるプログラムをご用意し、音楽の楽しさや驚き、心に

フルさが彼女の魅力だと感じています。自宅で練習を終えて公演に向かう際、自分の練習室に向かって「ありがとうございます」と一礼するというエピソードを聞き感動しました(以来、私も真似しています)。毎年ご一緒していても変わらない音楽への献身さと限界突破しようとするポテンシャルをいつも尊敬しています！

長岡のみなさまへ  
メッセージを  
いただきました

塚越 / リリックホール開館30周年、誠にありがとうございます！  
2021年のコンサートでは、たくさんのお客様にご来場いただき、心より感謝申し上げます。初めて訪れた長岡で、皆さまの集中したまなざしや温かな空気に包まれ、マスク越しでも伝わる笑顔に、幸せを噛み締めながら演奏したことを今も鮮明に覚えています。

口湖音楽祭でも毎年公演を重ねていますので、今年により深く緻密でエネルギー溢れるアンサンブルをお届けできると思っています！

お互いの  
尊敬するところを  
教えてください

池上 / 私は日本に戻ってきた30代の頃から、長く学校公演などのコンサートでリリックホールの方々のご縁をいただきました。朝早くからスタッフの方と長岡市を端から端まで巡り、だいたいの学校の最上階にある音楽室まで、マリンバを分解した重いパーツや打楽器をかついで階段で何度も行ったり来たり、と他の楽器とは全く違うハードワーク(笑)を、サポートしてくださいました。ホールの外観、響きの美しさなどももちろんですが、この地域に根付くよう奔走して来られたスタッフの方々の温かさやと心意気が見えない層となつて、このホール全体を包んでいるように感じます。休憩に外へ出ると、隣の公園で沢山の子どもたちが遊んでいたりと、広々としたこの場所に息抜きに来られている人たちを見ながら、文化でまちをつくることの素敵さを考えたりしていました。リリックホールは長岡の誇りですよ！  
リリックホール開館30周年おめでとうございます！



Special Interview

池上 英樹

&

塚越 慎子

## マリンバ・デュオコンサート

再演希望の声が多かった、池上英樹と塚越慎子のマリンバデュオコンサートが2021年以来、5年ぶりに開催決定しました！リリックのコンサートホールの響きと相性がピッタリなマリンバのやわらかな音色は格別です。今回はマリンバの魅力や今回の公演についてお二人にお話をお聞きしました。

塚越 慎子 Noriko Tsukagoshi

池上 英樹 Hideki Ikegami

国立音楽大学を首席で卒業。ソロ活動のほか、オーケストラとも共演。ベルギー国際マリンバコンクール第2位、世界マリンバコンクールにて「The Talent Award」、パリ国際マリンバコンクール第1位など受賞多数。現在、国立音楽大学、洗足学園音楽大学で非常勤講師として後進の指導にも力を注いでいる。2011年度第22回出光音楽賞、2025年度下総院一音楽賞を受賞。いしのまき観光大使。

8歳よりドラム、19歳でクラシックを始めた6年後に、第46回ミュンヘン国際音楽コンクールで最上位入賞、国内外での受賞歴を重ねる。様々な海外公演の後、演奏活動を一時休止し、著名な歌手、ピアニスト、ヴァイオリニスト、ダンサーに教えを受け、ベルカントやフラメンコを基盤にした技術を打楽器に応用、実践し始める。2014年より自作自演の創作舞台「MOSAIC=モザイク」を毎年発表している。

前回の公演で感じた  
長岡の印象は  
いかがでしたか？

塚越 / 私にとって特別な時間として心に残っています。音楽に対する呼吸や間合いを大切にしながら、二音一音を丁寧に積み重ねていくことができ、デュオならではの対話の喜びをあらためて実感する公演でした。

長岡は、自然と人の温かさが調和したまちで、心が落ち着く場所です。音楽を真摯に受け止めてくださるお客様の存在に支えられ、演奏する側も自然体で音楽と向き合うことができました。その空間で生まれた響きや時間は、今も大切な思い出として心に残っています。

池上 / 富士山麓からたくさん山を越えて、長岡に入ると、中心を川が流れ、美しい別世界にまたように感じます。ホール周辺やロビーなどの空間設計がいつも素敵だな、と思いながら楽器を搬入し組み立て、音を出したら、これまたホールの響きがトロリと豊かでウットリ！が私の印象です。

5年前のデュオリサイタルの頃は塚越さんと一緒にまだ間もない頃でしたが、富士山河

池上 / マリンバという大きな楽器を自分の声として、身体の延長のように扱うには、非常に強い体幹と柔軟性が必要です。塚越さんはバレエやピアノを幼少期からされていたからだとも思いますが、他の奏者とは全く違う身体の使い方や演奏されまふす。そこから出てくる繊細かつ豊かな響きや解放感のあるパワ

響くひとときをお届けできるよう準備を進めております。当日、皆さまにお会いできることを心から楽しみにしております！

5/6(水)休

リックホール コンサートホール  
開場 / 13:30  
開演 / 14:00

# ギドン・クレーメル・トリオ

全席指定5,000円 [U-25]2,000円 ※未就学児入場不可

チケット好評発売中

## 鬼才にして巨匠 異才が紡ぐ 至高の三重奏——

若くして主要国際コンクールを制し、20世紀後半から現在に至るまで、クラシック音楽界を席卷してきた、世界的ヴァイオリニスト、ギドン・クレーメルが遂に長岡に初登場します。円熟味を増す巨匠と、彼が絶対的信頼を寄せる精鋭と共に織りなす至高のアンサンブルによる極上の室内楽の世界をお楽しみください。



【出演】ギドン・クレーメル(ヴァイオリン)、ゲオルギス・オソーキンス(ピアノ)、ギード・レディルヴァナウスカイト(チェロ)

### 巨匠 ギドン・クレーメルについて



©Kassara & ECM Records  
ラトビア出身/  
使用楽器 1641年製「ニコラ・アマティ」

バガニーニ国際コンクール、チャイコフスキー国際コンクールなど主要コンクールで優勝し、20代前半に若くして国際的名声を確立しました。後進の育成に熱心で、出身地であるバルト三国の有能な若い音楽家の育成のために1997年にクレメラータ・バルティカ室内楽団を設立。ロシアやバルト三国の作曲家による作品の発掘や演奏に取り組み、多くの現代の作曲家と音楽ファンを結び付けてきました。レコーディングにも数多く参加し、2002年にグラミー賞の最優秀Small Ensemble Performance賞受賞など、国際的な賞を多く授与されています。日本では、2016年に第28回高松宮殿下記念世界文化賞(音楽部門)を受賞しています。

### プログラム

- ・アルヴォ・ペルト: アリーナのために
- ・ショパン: 幻想ポロネーズ 変イ長調 Op.61
- ・アルヴォ・ペルト: モーツァルト・アダージョ
- ・ギヤ・カンチェリ: ピアノ・トリオのための「ミデルハイム」
- ・ベートーヴェン: ピアノ三重奏曲第7番 変ロ長調「大公」Op. 97

※曲目は変更になる場合があります。

5/19(火)

リックホール コンサートホール  
開場 13:00  
開演 13:30

## 東京フィルハーモニー交響楽団 “平日お昼の室内楽コンサート”

vol.1 新緑のストリング・カルテット

全席自由 1,000円

※チケット購入や事前申し込みは不要です。  
※当日会場でお支払ください。  
※未就学児入場不可

東京フィルの名手たちが奏でる  
珠玉の名曲をお手頃価格で  
お楽しみください

### 東京フィルのスペシャルメンバーによる 心安らぐ室内楽の世界——

長岡のために特別編成された東京フィルメンバーによるアンサンブルコンサートを4回に渡って開催します。県内最高峰の音響を誇るリックのコンサートホールで室内楽の様々な編成をお楽しみいただける大変贅沢な公演です。心安らぐ平日の午後をリックでゆったり過ごしてみたいかでしょうか♪

### プログラム

- ・モーツァルト: ディヴェルティメントK.136 第1楽章
- ・モリコーネ: 映画「ニューシネマ・パラダイス」より“愛のテーマ”
- ・ベートーヴェン: 弦楽四重奏曲第9番「ラズモフスキー第3番」

※曲目は変更になる場合があります。

### 今後のスケジュール

- ・9/8(火) 金管五重奏
- ・11/25(水) 木管アンサンブル
- ・R9/2/9(火) ピアノを含む室内楽

※公演内容は変更になる場合があります。



©Yuji Hori  
三浦章宏(コンサートマスター)



藤村 政芳(第2ヴァイオリン)



加藤大輔(ヴィオラ)



渡邊辰紀(チェロ)

令和8年、長岡リックホール開館30周年を迎えます。多くみなさまにお越しいただけるよう、感謝の想いを込めて特別な企画をご用意しております。みなさまのお越しをお待ちしております。

Lyric Colors vol.18  
(2026年3月25日発行)

発行(公財)長岡市芸術文化振興財団  
〒940-2108 新潟県長岡市千秋3丁目1356番地6  
TEL.0258-29-7715 <https://www.nagaoka-caf.or.jp/>

